

FUJITEC

証券コード:6406

フジテック株式会社 第66期

株主通信

2012年4月1日～2013年3月31日



フジテックはグローバル市場でさらなる飛躍を目指します

フジテックは、中期経営計画“One Goal, One Fujitec”に続く、新たな中期経営計画“Grow Together! Yes, Fujitec Can”をスタートさせました。第66期の総括と、中期経営計画について、ご報告いたします。

代表取締役社長 内山 高一



Q はじめに第66期の昇降機市場の動向はいかがでしたか？

A 中国市場の新設需要は、引き続き旺盛でした。

本連結会計年度の昇降機市場は、世界最大の市場である中国を中心とした新設需要が引き続き旺盛となりました。中国では依然として新設需要の拡大から、年間45万台を超える需要台数となった模様です。同じく、経済成長の著しいインド、マレーシア、インドネシアをはじめとする南アジア諸国も需要台数が年を追うごとに増加しております。

また、先進国市場におきましては、米国が金融緩和策による景気回復から需要台数が回復しつつあります。日本では首都圏を中心に新たな開発プロジェクトが数多く計画され、活発な市場環境となりました。

Q 第66期の業績はいかがでしたか？

A 売上高、営業利益、経常利益は過去最高となりました。

第66期は中期経営計画“One Goal, One Fujitec”最終年度として目標必達に向け、フジテック・グループ一丸となって取り組んでまいりました。業績値は期初計画を達成し増収増益となりましたことに加え、売上高、営業利益、経常利益は過去最高を更新することができました。

エリア別では東アジアと日本の増収増益に加えまして、北米の黒字転換が寄与しました。また、南アジアでは新設工事の増加が売上に貢献した一方、欧州では売上、利益ともに減少する結果となりました。

Q 新中期経営計画をスタートされましたが、どのような経営方針でしょうか？

A 世界市場のシェア向上に向けた施策を打ち出します。

新中期経営計画では“Grow Together! Yes, Fujitec Can”をスローガンに、世界各地のマーケット・シェアを高める施策を打ち出していきます。あらゆる機種のエレベータ、エスカレータを取り扱うフルラインプロデューサーとして、お客様のニーズに細かく対応し、さらなる事業の拡大と発展につなげたいと考えています。この動きはグローバルに加速しており、サプライチェーンの再編を交えながら、より競争力のあるメーカーに成長していきます。

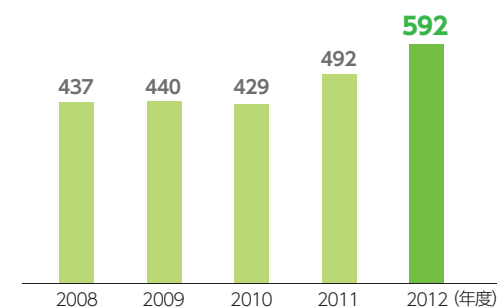
株主の皆様へメッセージをどうぞ

第66期は創業65周年、中期経営計画の最終年度を迎えるなど節目の多い1年でした。業績面は過去最高の収益を確保することができ、一定の成果が得られました。

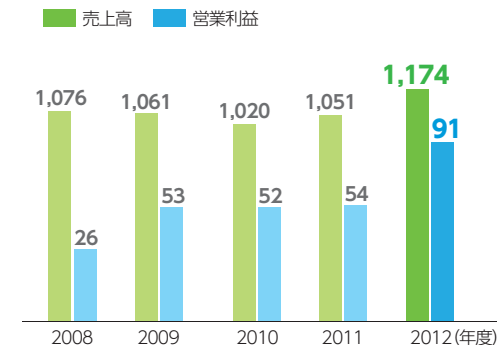
この結果を踏まえまして、1株当たりの期末配当金は前期実績に比べ3円増配し普通配当6円、創業65周年の記念配当4円の10円といたしました。日頃のご高配に感謝いたします。

当社は、新中期経営計画“Grow Together! Yes, Fujitec Can”の下、グローバル市場でさらなる飛躍を目指し、まい進してまいります。今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

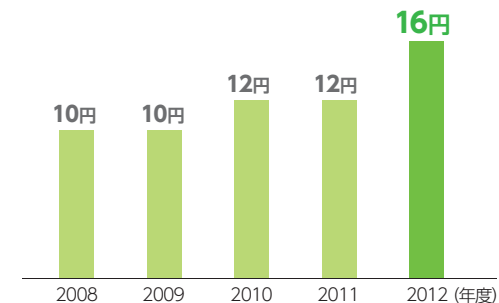
●アジアにおける売上高の推移 (億円)



●売上高と営業利益の推移 (億円)



●1株当たりの配当金推移



CONTENTS

- 社長インタビュー 1
- 中期経営計画 3
- 主な活動概況 5
- 新商品 7
- トピックス 8
- CSR 9
- 連結決算情報 10
- 株式の状況 13
- 企業データ 14

中期経営計画 “Grow Together! Yes, Fujitec Can” がスタート!

2012年度まで取り組んできた中期経営計画“One Goal, One Fujitec”から、今年度より、新たな中期経営計画がスタートしました。当社は目標到達に向けて、全社一丸となって取り組んでいきます。

▶全体概要

本年2013年度からスタートした中期経営計画 “Grow Together! Yes, Fujitec Can” は、長期経営ビジョン “Top Quality for Customers” の最終フェーズになる期間です。計画では各地の昇降機市場でマーケット・シェアの拡大に加えて、グローバル市場でのプレゼンスの向上にも注力します。

最終年度にあたる2015年度の計画は売上高1,600億円、営業利益率8%です。この計画達成に向けて当社では4つの行動ビジョンを設けました。

行動ビジョン

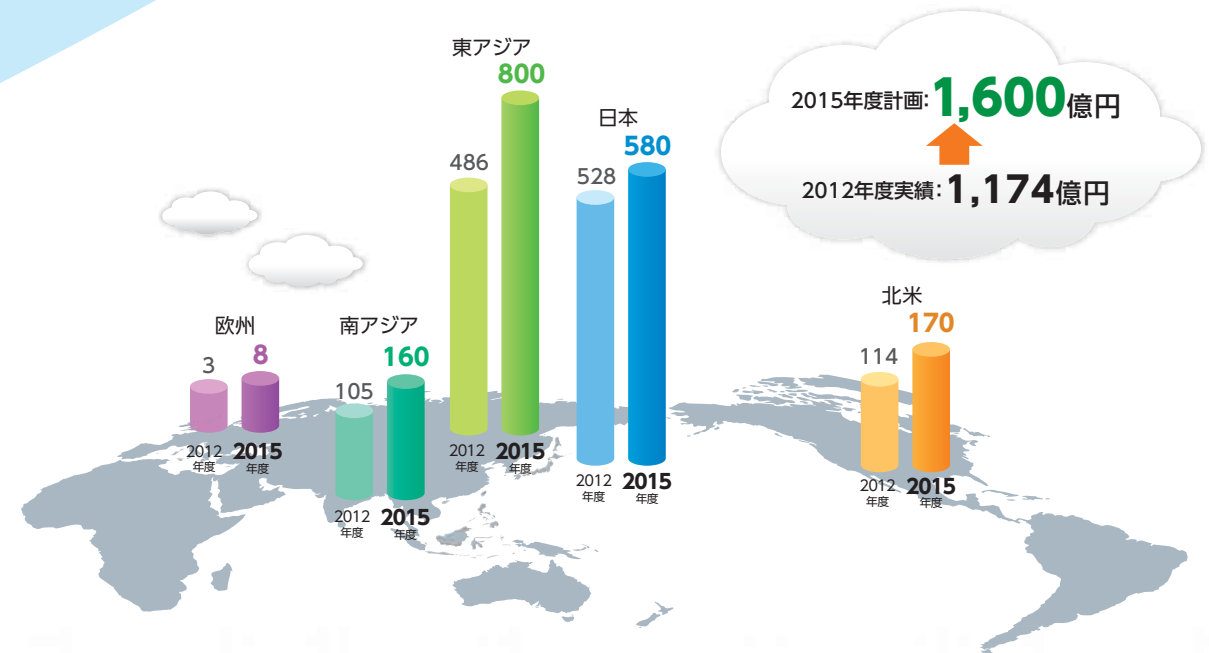
- 【1】グローバル市場において、フルラインプロデューサーとして商品供給力とコスト競争力を高める。
- 【2】日本を含むアジア地域での生産再編を加速し、グローバルサプライチェーンの改革を実現する。
- 【3】安全と品質を最優先に、顧客の信頼と期待に応える。
- 【4】グローバル人材の育成を強化する。

▶事業のポイント

- 【1】新興市場では新設市場が拡大しており、各国でのマーケット・シェア拡大を図ります。一方、成熟市場ではリニューアルなどを手掛けるサービス市場の成長が見込まれることから、これらに関連する商品力の強化を進めていきます。
- 【2】コスト競争力、品質の向上を図るため、各拠点に分散するマーケティング、開発・設計、調達、生産、物流、フィールドの各プロセスを統合し、グローバルに展開する全体最適化を進めていきます。

Grow Together!

Yes, Fujitec Can



グローバルに拡大するフジテックブランド

創業65周年を迎え、フジテックブランドは、お客様やご利用者に向けてさらなる“安全・安心”を提供しています。ここでは、世界各地の活動概況をお知らせします。



シェブロン 1400 スミス

当社グループは、世界を5つの事業エリアに分割し、各エリアを一つのセグメントとして捉え、事業を展開しています。国内と海外の売上高比率は年々、海外売上高が増加。2012年度はさらに海外比率が高まっており、より海外への販売シフトが強まりました。

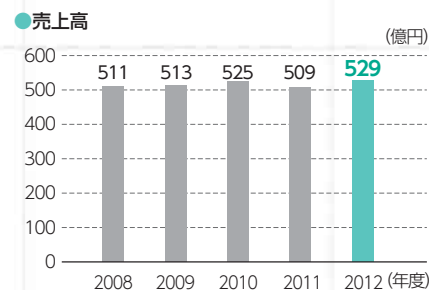
日本

都内私大向けに54台受注

国内は新設市場が拡大しました。都内では「帝京大学八王子キャンパス」新校舎のエレベータ・エスカレータ計54台を受注。日本橋では室町東地区の再開発複合施設のエレベータ・エスカレータ計20台を受注しました。また、静岡県では商業施設「MARK IS 静岡」にエスカレータ36台を納入しました。



MARK IS 静岡



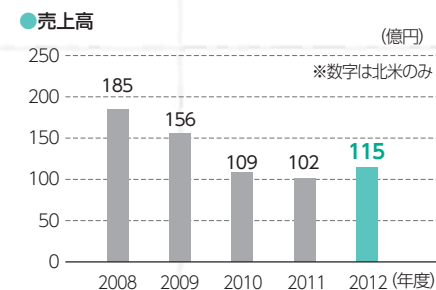
北南米

米国の改修工事40台受注

北南米は新設・改修ともに市場が拡大しました。米国・ヒューストンでは大型オフィスビル「シェブロン1400スミス」の既設エレベータ・エスカレータ計40台のリニューアル工事を受注。アルゼンチンの首都ブエノスアイレスでは「エセイサ国際空港」新ターミナルにエレベータ・エスカレータ計26台を納入しました。



エセイサ国際空港



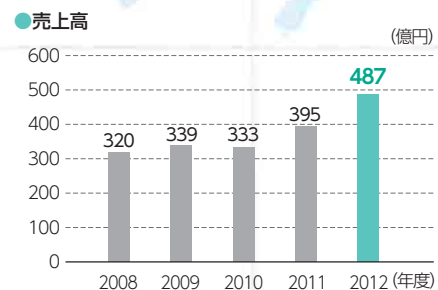
東アジア

エスカレータ154台受注

東アジアは引き続き中国中心の市場となりました。北京市では大型複合ビル「望京SOHO」のエレベータ・エスカレータ計142台を受注。「北京地下鉄7号線」でもエスカレータ154台を受注しました。重慶市では、大型商業施設「協信城星光時代広場」にエスカレータ・オートウォーク計65台を納入しました。



望京SOHO



南アジア

ベトナムの玄関口で68台受注

南アジアは経済成長と共に市場が拡大しました。ベトナムの首都ハノイ市では、「ノイバイ国際空港第二旅客ターミナル」のエレベータ・エスカレータ計68台を受注。シンガポールでは「ザ・スター・パフォーミング・アーツ・センター」にエレベータ・エスカレータ・オートウォーク計65台を納入しました。



ザ・スター・パフォーミング・アーツ・センター



欧州・中東

エレベータ74台を納品

中東は新設市場が拡大しました。サウジアラビアの首都メッカでは、エレベータ・エスカレータ計111台を納入する複合施設「ヒデヤプロジェクト」の完成が近づいています。また、主要都市ジェッダでは、「キング・アブドゥルアズィーズ大学」にエレベータ74台を納入しました。



キング・アブドゥルアズィーズ大学

安全向上パッケージ

既設エレベータの安全性向上を目指して

既設エレベータの改修を手掛ける「安全向上パッケージ」は、ご利用者の安全性を高めるパッケージメニューです。改修により、「戸開走行保護装置の設置」、「P波センサー付 地震時管制運転装置の設置」、「主要機器の耐震補強」が施されます。この3つの工事を1つのパッケージにすることで、改修費用は国からの補助金事業の対象となります。

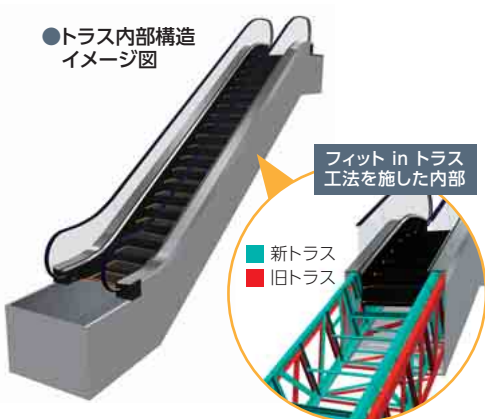
ブレーキを
二重化することで
扉開走行を防止



地震の初期微動を
感知するP波感知器



制御盤を耐震補強



フィット in トラス工法

環境にやさしいエスカレータ・リニューアルを

エスカレータの新しい改修方法として、ご提案するのが「フィット in トラス工法」を採用したリニューアル・メニューです。このメニューは、既設のエスカレータに新しいエスカレータ「スリムフィット」をはめ込む工法を採用したものです。この工法は従来のエスカレータの入れ替えに比べて、建築廃材が減少するほか、工事期間も短縮できるため、お客様にとってメリットの大きいリニューアル・メニューです。

制御盤交換パッケージ(油圧式)

エレベータの心臓部を最新型に

エレベータの心臓部、制御盤を最新型に取り替える「制御盤交換パッケージ」はこれまで、ロープ式対応のみでしたが、油圧式の対応を開始しました。このパッケージでは制御盤に加え、かご内の操作盤、ドア制御装置など、スムーズな運転とご利用者の安全性向上につながる改修を行います。

「安全向上パッケージ」見学ルームを開設

東京、大阪にそれぞれ「安全向上パッケージ」の実機をご覧いただける見学ルームを開設しました。見学ルーム内では「安全向上パッケージ」の工事を施したエレベータを使い、様々なデモンストレーションを実施。そのほか、エレベータの巻上機に設置した二重ブレーキの動作をじかにご覧になれます。随時、見学の受付を行っております。ぜひ一度ご覧ください。



▲大阪での見学の様子



▲東京の見学ルーム内

華昇フジテック、国際エレベータ展覧会に出展

2012年5月に開催された世界最大規模の昇降機展示会「2012年中国国際エレベータ展覧会」にフジテック・グループである「華昇フジテック」が出展しました。この展示会は2年に1度、中国国内で開催される国際的な展示会です。展示ブースでは当社マスコットキャラクター「テッキー」がご来場者をお出迎え。会場は連日、大いに賑わいました。



国際エレベータ展覧会ブース▲

フジテック創業65周年、フジテック・シンガポール創業40周年

1948年2月に産声をあげた当社は、2013年2月9日に創業65周年を迎えました。また、2012年8月には、フジテック・シンガポールも創業40周年を迎えました。一つの節目として今後も当社は、世界各国のお客様に向けて、“安全・安心”な空間移動システムを提供していきます。

フジテックは安全活動と共に 地域のスポーツ活動を応援しています

フジテックはさまざまな場面でエレベータ・エスカレータご利用者の安全啓蒙活動を進めています。
また、本社を置く滋賀県内では、さまざまな地域活動に取り組んでいます。

エレベータ安全ノートを小学生に配布

エレベータ・エスカレータの正しい乗り方を小学校低学年向けに紹介した、安全ノート「正しく乗ろう!エレベータ&エスカレータ」を発行しています。マスコットキャラクターのテッキーが、エレベータ・エスカレータの仕組みや乗る際の注意点を、イラストを用いながら分かりやすく解説した内容になっています。



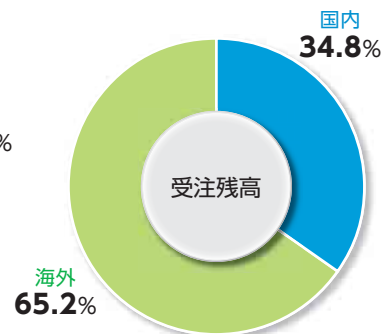
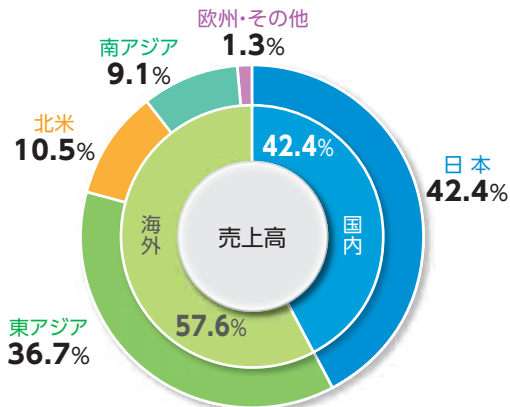
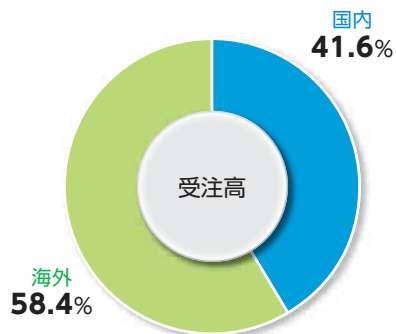
県内アスリートの活動を応援

滋賀県をベースに活動するアスリートをサポートするため、公益財団法人「滋賀レイクスターズ」を応援しています。同法人には、昨年のロンドンオリンピックに出場した棒高跳びの我孫子智美選手、デフ・ハンマー投げ世界記録保持者の森本真敏選手と、世界を舞台に活躍する県内出身選手が所属しています。

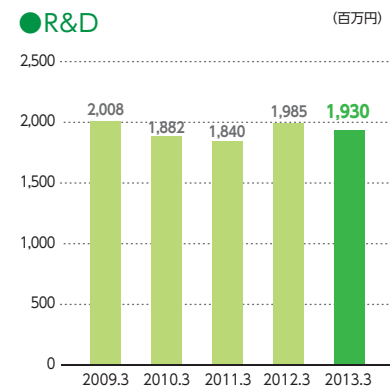
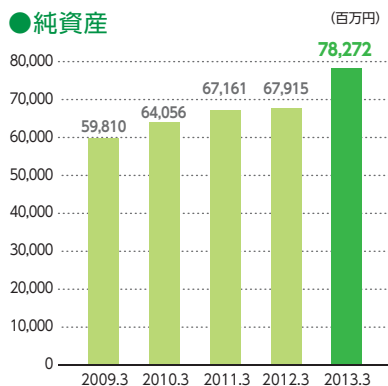
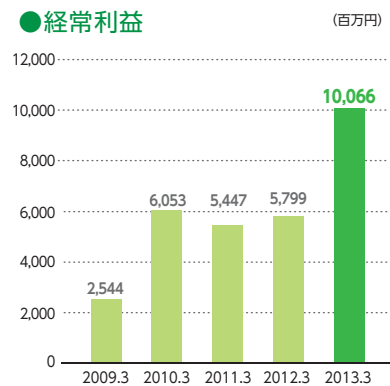
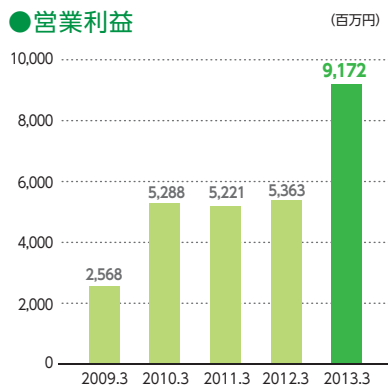
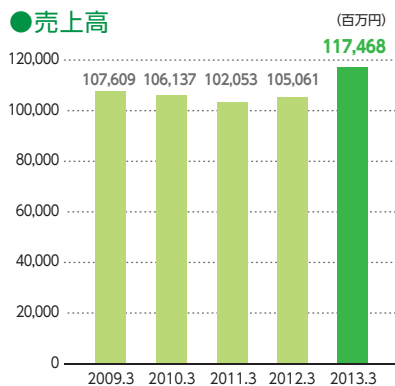
フジテックはこれからも世界で戦うアスリートを応援します。



営業の状況



業績の推移



単位(百万円)

▶ 連結貸借対照表

	2012年3月31日現在	2013年3月31日現在
●資産の部		
流動資産	65,431	80,736
固定資産	41,782	41,907
有形固定資産	28,594	28,759
無形固定資産	2,506	3,136
投資その他の資産	10,681	10,011
資産合計	107,213	122,643
●負債の部		
流動負債	33,401	39,953
固定負債	5,896	4,417
負債合計	39,298	44,371
●純資産の部		
株主資本	84,197	88,485
その他の包括利益累計額	△21,058	△16,568
少数株主持分	4,777	6,355
純資産合計	67,915	78,272
負債・純資産合計	107,213	122,643

ポイント①：流動資産

流動資産は153億500万円増加しました。これは、「現金及び預金」が62億9,500万円、「受取手形及び売掛金」が55億8,100万円、増加したことによるものです。

ポイント②：固定負債

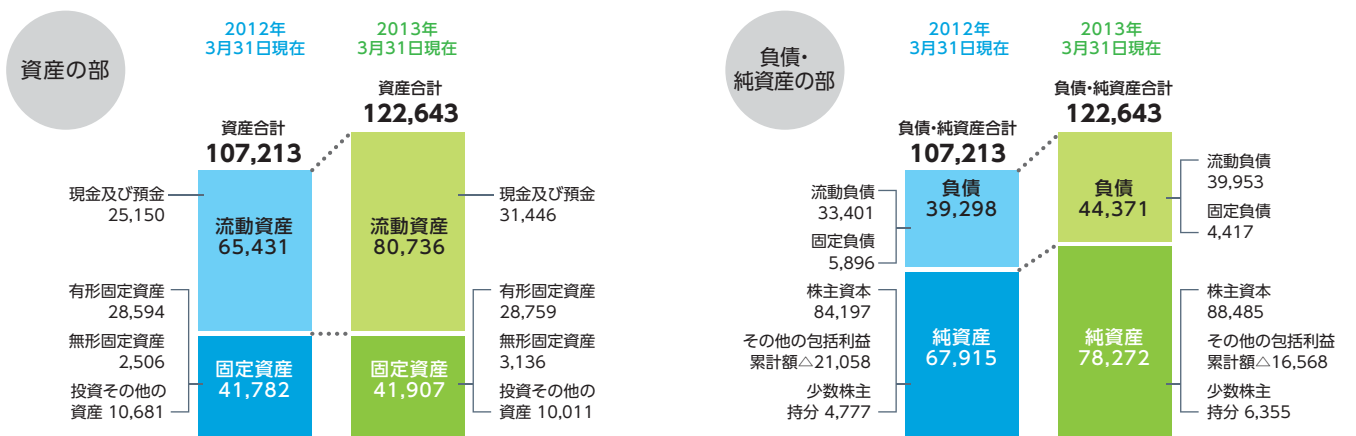
固定負債は14億7,900万円減少し、44億1,700万円となりました。これは、「長期借入金」が14億3,300万円減少したことによるものです。

ポイント③：株主資本

株主資本は42億8,800万円増加しました。これは、「利益剰余金」が42億9,100万円増加したことによるものです。

連結貸借対照表の概要

単位(百万円)



単位(百万円)

▶ 連結損益計算書

	2012年3月期 2011年4月1日～2012年3月31日	2013年3月期 2012年4月1日～2013年3月31日
売上高	105,061	117,468
売上原価	84,017	90,982
売上総利益	21,043	26,485
販売費及び一般管理費	15,680	17,312
営業利益	5,363	9,172
営業外収益	637	1,003
営業外費用	201	109
経常利益	5,799	10,066
特別利益	407	3
特別損失	251	239
税金等調整前当期純利益	5,955	9,830
法人税、住民税及び事業税	1,166	2,217
法人税等調整額	1,341	755
少数株主損益調整前当期純利益	3,447	6,857
少数株主利益	840	1,349
当期純利益	2,607	5,507

ポイント①：売上高

売上高は前期に比べて124億600万円増加しました。日本、東アジア、南アジアにおける、新設工事とリニューアル工事の増加が寄与しました。

ポイント②：経常利益

経常利益は過去最高となりました。営業利益の増益に加え、営業外収益3億6,500万円の増加もあり、前期に比べて42億6,700万円増加しました。

ポイント③：当期純利益

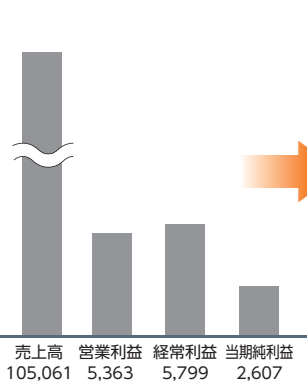
税金等調整前当期純利益は38億7,400万円増加しました。当期純利益は法人税等も減少し、およそ2倍に伸長しました。

連結損益計算書の概要

単位(百万円)

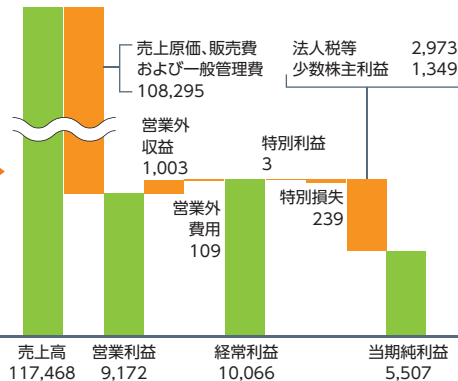
2012年3月期

(2011年4月1日～2012年3月31日)



2013年3月期

(2012年4月1日～2013年3月31日)

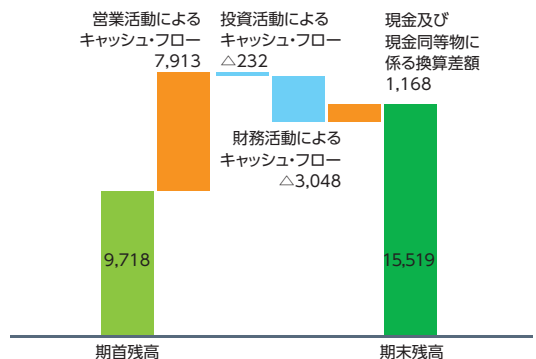


連結キャッシュ・フロー計算書の概要

単位(百万円)

2013年3月期

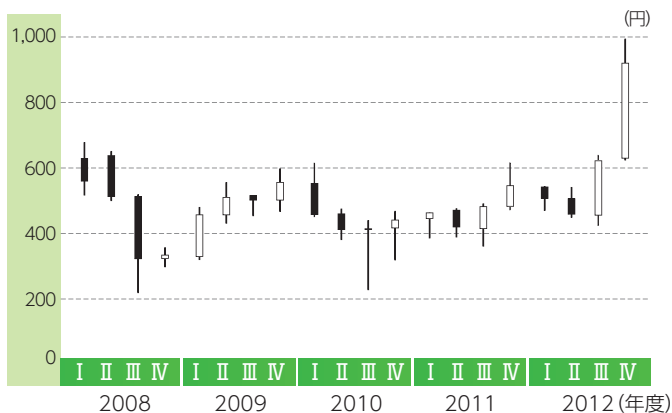
(2012年4月1日～2013年3月31日)



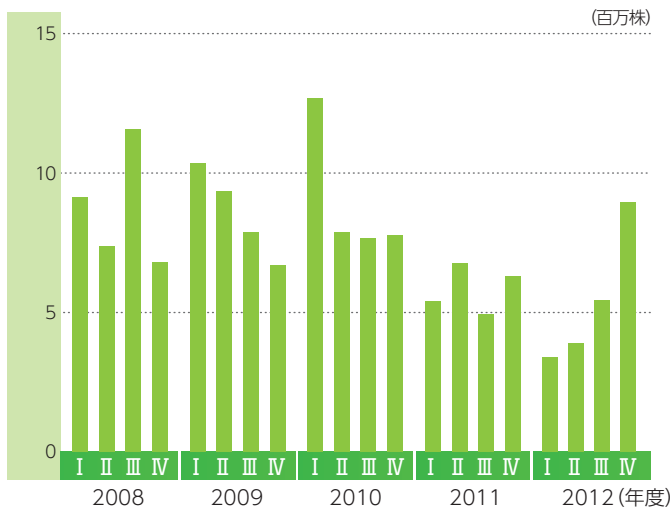
株式の状況

発行済株式の総数	93,767,317株
株主数	3,253名
上場証券取引所	東京証券取引所

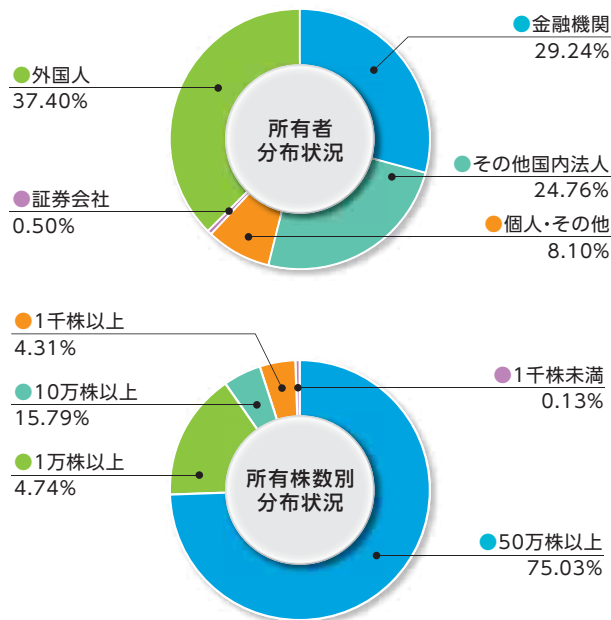
▶ 株価推移



▶ 出来高推移



▶ 所有者分布状況・所有株数別分布状況



▶ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
1. シティグループグローバルマーケット インター セキュリティーズ セーフキーピング アカウト 418	14,212	15.18
2. 株式会社ウチヤマ・インターナショナル	10,025	10.71
3. 富士電機株式会社	5,089	5.43
4. エムエルピー エフエス カストディー アカウト	4,548	4.86
5. 株式会社りそな銀行	4,203	4.49
6. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,880	4.14
7. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	3,139	3.35
8. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,456	2.62
9. メロン バンク トリーティー クライアantz オムニパス	2,068	2.21
10. 株式会社みずほコーポレート銀行	1,989	2.12

(注) 持株比率は2013年3月31日現在の発行済株式総数である93,767,317株から自己株式203,231株を除いた93,564,086株を基準に計算しています。

▶ 会社の概況

設立 1948年2月9日
 資本金 125億3,393万円 (2013年3月31日現在)

▶ フジテック・グループ

日本	本社 ビッグウイング	滋賀県彦根市宮田町591-1 TEL(0749)30-7111
	東京本社	東京都港区三田3丁目9-6 TEL(03)4330-8200
北米	アメリカ	FUJITEC AMERICA, INC.
	カナダ	FUJITEC CANADA, INC.
	グアム	FUJITEC PACIFIC, INC.
南米	ベネズエラ	FUJITEC VENEZUELA C.A.
	アルゼンチン	FUJITEC ARGENTINA S.A.
	ウルグアイ	FUJITEC URUGUAY S.A.
欧州	ドイツ	FUJITEC DEUTSCHLAND GmbH
	イギリス	FUJITEC UK LTD.
中東	サウジアラビア	FUJITEC SAUDI ARABIA CO., LTD.
	エジプト	FUJITEC EGYPT CO., LTD.
	アラブ首長国連邦	FUJITEC UAE
南アジア	シンガポール	FUJITEC SINGAPORE CORPN. LTD.
	フィリピン	FUJITEC, INC.
	マレーシア	FUJITEC (MALAYSIA) SDN. BHD.
	インドネシア	P.T. FUJITEC INDONESIA
	インド	FUJITEC INDIA PRIVATE LTD.
	ベトナム	FUJITEC VIETNAM CO., LTD.
	タイ	FUJITEC (THAILAND) CO., LTD.
東アジア	ホンコン	FUJITEC (HK) CO., LTD.
	台湾	富士達股份有限公司
	韓国	FUJITEC KOREA CO., LTD.
	中国	華昇富士達電梯有限公司 上海華昇富士達扶梯有限公司 富士達電梯配件(上海)有限公司 上海富士達電梯研発有限公司

▶ 役員

取締役	代表取締役社長	内山 高一
	代表取締役副社長	関口 岩太郎
	取締役	ナラヤナピレー・スグマラン
	取締役	岡田 隆夫
	取締役	白倉 三徳
	取締役	花川 泰雄
	取締役	稲葉 和夫

監査役	常勤監査役	野木 正彦
	常勤監査役	北川 由雄
	監査役	中野 正信
	監査役	佐伯 照道

執行役員	執行役員社長	内山 高一*
	執行役員副社長	関口 岩太郎*
	専務執行役員	ナラヤナピレー・スグマラン*
	専務執行役員	岡田 隆夫*
	常務執行役員	津山 圭二
	常務執行役員	奥田 勝次
	常務執行役員	加藤 義一
	常務執行役員	浅野 隆史
	執行役員	梶田 順司
	執行役員	井上 治男
	執行役員	多川 正弘
	執行役員	原田 政佳
	執行役員	内山 泰行
	執行役員	筒井 邦彦
	執行役員	坂本 晴彦
	執行役員	宇都宮 靖雄
	執行役員	伊豆原 久男
	執行役員	早瀬 昭彦
	執行役員	土畑 雅志
	執行役員	中川 泰毅

*は兼務しています。(2013年6月25日現在)

■ 株式会社についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告によることができない場合の公告方法 は、日本経済新聞に掲載することといたします。 ホームページアドレス： http://www.fujitec.co.jp/koukoku/
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4-1 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜4丁目5-33 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8-4 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。

当社ホームページのご案内



企業情報や財務情報をはじめとして、
積極的に情報開示しております。
ぜひご覧ください。

www.fujitec.co.jp

● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

なお、配当金領収書にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度、「配当金計算書」を同封させていただきます。

※確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

フジテック株式会社